

DISK HANGER

Patent Number: JP5028471
Publication date: 1993-02-05
Inventor(s): TAKASU TAKUMA
Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Requested Patent: JP5028471
Application Number: JP19910179343 19910719
Priority Number(s):
IPC Classification: G11B5/84
EC Classification:
Equivalents:

H.J

Abstract

PURPOSE: To form a lubricating film uniform in thickness by guiding a lubricating liquid to a guide member from a disk hanger or the like.

CONSTITUTION: The disk hanger 9 hanged nine piece of the disk 2 is dipped into the lubricating liquid 5 and is taken up. At this time, the liquid 5 flows smoothly along the disk hanging member 8 and is guided by the guide member 6a so that the droplet of the liquid 5 does not drop to the liquid 5 from the member 8 at the time of taking up. After taking up is finished, the droplet does not have influence upon the thickness of the lubricating agent on the surface of the disk 2 with ripple by falling down of the droplet, as the member 6a is longer than radial of the disk 2 and the liquid flows in the member 6a. In this way, the lubricating film uniform in thickness is formed on the surface of the disk 2.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-28471

(43) 公開日 平成5年(1993)2月5日

(51) Int.Cl.⁵
G 1 1 B 5/84

識別記号 庁内整理番号
7303-5D

F I

技術表示箇所

審査請求・未請求 請求項の数 1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-179343

(22)出願日 平成3年(1991)7月19日

(71)出願人 000005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 鹿島 卓磨
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

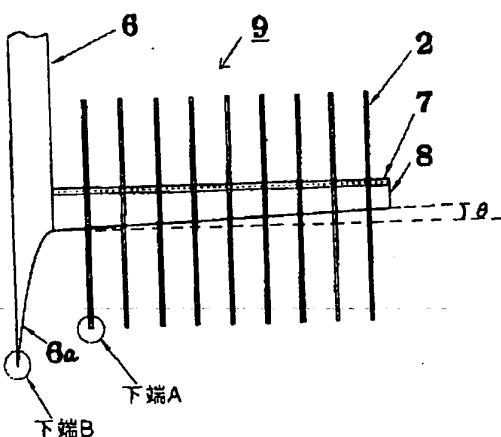
(74)代理人 弁理士 小鍛治 明 (外2名)

(54) [発明の名称] ディスクハンガー

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、ディスクハンガーにトラップされた潤滑液の液垂れ等を防止し、ディスク表面に均一な厚みの潤滑膜を形成し、高品質のディスクを低原価で量産することができるディスクハンガーの提供を目的とする。

【構成】 本発明のディスクハンガーは、磁気ディスクの表面に潤滑剤を塗布する浸漬式潤滑剤塗布装置で前記磁気ディスクを保持するディスクハンガーであって、垂直状に配設され端部にガイド部材6aが一体に、または別途配設されたハンガー保持部材6と、基部から先端に向か傾斜角度θが $0^{\circ} < \theta < 45^{\circ}$ で上方へ傾斜して形成された下面を有し、前記ハンガー保持部材6の前記ガイド部材6a上部に略直交状に配設されたディスク係止部材8と、を備えたことを特徴とするディスクハンガ



| | |
|------------|-----------------|
| 2 ディスク | 7 ディスク受け部材 |
| 6 ハンガー保持部材 | 8 ディスク係止部材 |
| 8.3 ガイド部材 | 9 本実施例のディスクハンガー |

【特許請求の範囲】

【請求項1】磁気ディスクの表面に潤滑剤を塗布する浸漬式潤滑剤塗布装置で前記磁気ディスクを保持するディスクハンガーであって、垂直状に配設され端部にガイド部材が一体に、または別途配設されたハンガー保持部材と、基部から先端に向か傾斜角度 θ が $0^\circ < \theta < 45^\circ$ で上方へ傾斜して形成された下面を有し、前記ハンガー保持部材の前記ガイド部材上部に略直交状に配設されたディスク係止部材と、を備えたことを特徴とするディスクハンガー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は磁気ディスク（以下、ディスクという）の製造工程でディスクの両面に潤滑剤膜を形成する浸漬式潤滑剤塗布装置に用いられるディスクハンガーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、高速回転する磁気ディスク上に磁気ヘッドが浮上して記録再生を行い、使用しない状態ではディスク上に磁気ヘッドが停止接触し、ディスク回転の始動と停止に際し、磁気ヘッドがディスク上をある時間摺動する形式の磁気ディスクドライブ装置が開発されている。

【0003】このような装置では、ディスク表面の潤滑剤の膜厚の均一性が重要な要素となっている。潤滑剤の形成方法としては、ディスクハンガーにディスクを係止し潤滑剤中に浸漬塗布する方法が一般的に用いられている。

【0004】以下に従来のディスクハンガーについて説明する。図4(a)は浸漬式潤滑剤塗布装置に浸漬した状態を示す従来のディスクハンガーの側面図であり、図4(b)はその正面図である。1は側面形状がL字形をし、ハンガー保持部材1aと、その下端部に配設された丸棒状のディスク係止部材1bとかなるディスクハンガー、2は円形状のディスク、3はディスク2の中央部に設けられたスピンドル係着用の開口部、4は揮発性有機溶剤で希釈された潤滑剤溶液が充たされた容器、5は潤滑溶液である。

【0005】以上のように構成された従来の浸漬式潤滑剤塗布装置のディスクハンガーについて、以下その動作を説明する。ディスクハンガー1のディスク係止部材1aにディスク2の中央の開口部3を通してディスク2を吊り下げ、容器4に満たされた潤滑溶液5にディスク2を浸漬し、次いでディスク2を引き上げるか、または潤滑溶液5の液面をディスク2より下に下げることにより潤滑剤を塗布していた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記従来の構成では、潤滑剤塗布の際ディスクハンガーが潤滑溶液の液面から液面上へ出た直後、ディスクハンガーにト

ラップされた潤滑溶液が重力によりディスク表面に垂れたり、あるいは、上記トラップ液が潤滑液面上に滴下することにより液面を揺らしたりして引き上げ途中のディスク表面に均一な厚みの潤滑膜を形成することが困難で、このため、ディスクドライブ中に、ヘッドにディスクが吸着しドライブのスピンドルモーターが回転しなくなる現象が発生し、ディスクドライブの信頼性を損なうという問題点があった。

【0007】本発明は上記従来の問題点を解決するもので、ディスクハンガーにトラップされた潤滑液の液垂れ等を防止し、ディスク表面に均一な厚みの潤滑膜を形成し、高品質のディスクを低原価で量産することができるディスクハンガーを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため本発明のディスクハンガーは、全体の側面形状がT字形をしたディスクハンガーであって、垂直状に配設された端部にガイド部材が一体にまたは別途配設されたハンガー保持部材と、基部から先端に向か傾斜角度 θ が $0^\circ < \theta < 45^\circ$ で上方へ傾斜して形成された下面を有し、前記ハンガー保持部材の前記ガイド部材上部に略直交状に配設されたディスク係止部材と、を備えた構成からなる。

【0009】

【作用】この構成によって、ディスクハンガー等からの潤滑溶液をガイド部材へ誘導するので、ディスク表面への潤滑溶液の液垂れ及びディスクハンガーから潤滑溶液面への液滴の落下による液面の揺れを防止することができる。

【0010】

【実施例】以下本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

【0011】図1は本発明のディスクハンガーの側面図であり、図2はその正面図である。2はディスク、3はディスク開口部であり、これらは従来例と同様のものであるので説明を省略する。6はハンガー保持部材、6aはハンガー保持部材6の下部に形成された潤滑溶液のガイド部材、7はディスク受け部材、8はハンガー保持部材6のガイド部材6aの上部に基部が直交状に固定されたディスク係止部材、9はディスクハンガーである。ガイド部材6aの長さL4は少なくともディスク係止部材8に係止されたディスク2の半径L3よりも長めに形成されるのが好ましく、また、その先端を鋭角状に形成するのが好ましい。ディスクハンガー9を潤滑溶液5中に出し入れする浸漬式の場合ディスクハンガー9を潤滑剤用容器4から引き上げた時、その下端から潤滑溶液5への液滴の落下により発生する液面の波紋がディスク2の表面に当たり潤滑膜の均一形成を阻害するのを防ぐためである。ガイド部材6aの形状は、鋭角状に形成することにより表面張力により液滴を早期に集約し液切りを

(3)

4

3

早め作業性を上げるので好ましい。ガイド部材 6a はハンガー保持部材 6 と一緒に形成してもよく、又は、ディスク 2 の直径の大小に合わせて適宜変更できるように着脱自在に形成してもよい。ディスク係止部材 8 はその上面に潤滑溶液に不活性なディスク受け部材 7 を配設し、所定位置にディスク受溝を形成しておくとディスクを均一にかつ早く係止できるので好ましい。本実施例ではディスク受け部材 7 をディスク係止部材 8 の上面に 2 列に平行に配置させ、この 2箇所のディスク受け部材 7 以外ではディスクに接触しないように形成したところ、潤滑溶液 5 の切りを早くすることができた。

【0012】ディスク係止部材 8 は、その径がディスク開口部 3 より小さく、かつ下面を水平面と $0^\circ \sim 45^\circ$ の角度で、先端にいくつにれ上方に傾斜させて形成し、かつ、基部の径 L1 より先端の径 L2 を小さく形成したので、ディスク受け部材 7 やディスク係止部材 8 の表面上の潤滑溶液 5 を重力と表面張力によりガイド部材 6a にスムーズに誘導でき潤滑溶液を早く容器 4 中へ戻すこと

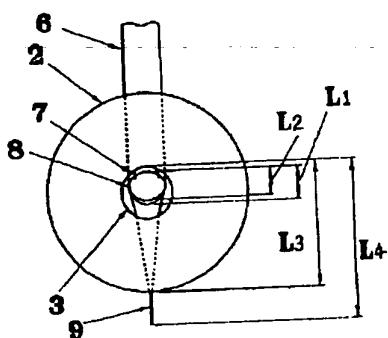
が出来た。

【0013】以上のように構成されたディスクハンガーについて、以下図 3 を用いてその動作を説明する。

【0014】図 3 は本発明の一実施例におけるディスクハンガーの使用状態図である。ディスクハンガー 9 に 9 枚のディスク 2 を係止し、潤滑溶液 5 中に浸漬し、次いで、ディスクハンガー 9 を引き上げたところ、図中矢印で示すように潤滑溶液 5 がスムーズにディスク係止部材 8 に沿って流れ、ガイド部材 6a に誘導され、引き上げ中に從来のようにディスク係止部材 8 から潤滑溶液 5 の液滴が垂れて溶液中に落ちることがなかった。また、引き上げ終了時、液滴はガイド部材 6a がディスク 2 の半径よりも長いので、ガイド部材 6a から溶液が流れ、液滴の落下による溶液の波紋によりディスク表面の潤滑剤の厚みに影響を与えることはなかった。

【0015】

【図2】



10

【発明の効果】以上のように本発明は、側面形状が略T字形をしたディスクハンガーであって、垂直状に配設され端部にガイド部材が一体に、または別途配設されたハンガー保持部材と、ハンガー保持部材のガイド部材上部に配設されたディスク係止部材とを備えた構成からなるので、ディスクハンガーからディスクの表面への潤滑溶液の液垂れ及びディスクハンガーから潤滑溶液面への液滴の落下による液面の揺れを防止することが可能で、ディスクの表面に均一な厚みの潤滑膜を形成することが出来、従来と同じ方法でありながら短時間の作業で高品質のディスクを歩留りよく低原価で量産できる優れたディスクハンガーを実現できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例におけるディスクハンガーの側面図

【図2】本発明の一実施例におけるディスクハンガーの正面図

【図3】本発明の一実施例のディスクハンガーの使用状態図

【図4】(a) 従来のディスクハンガーの浸漬時の側面図

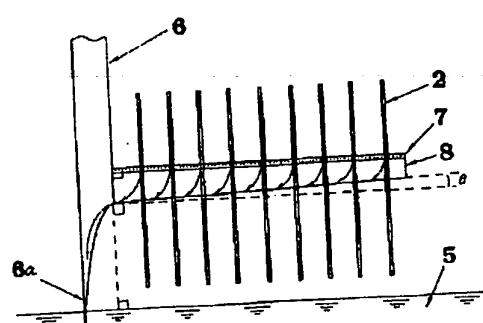
(b) その正面図

【符号の説明】

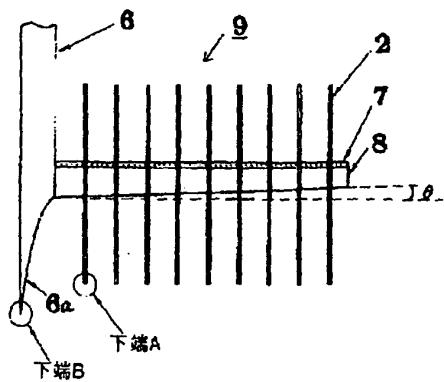
- 1 従来例のディスクハンガー
- 2 ディスク
- 3 ディスク開口部
- 4 容器
- 5 潤滑溶液
- 6 ハンガー保持部材
- 6a ガイド部材
- 7 ディスク受け部材
- 8 ディスク係止部材
- 9 本実施例のディスクハンガー

30

【図3】



【図1】



- | | |
|------------|-----------------|
| 2 ディスク | 7 ディスク受け部材 |
| 6 ハンガー保持部材 | 8 ディスク保持部材 |
| 6a ガイド部材 | 9 本実施例のディスクハンガー |

【図4】

